



1/22 (日) ~24 (火) 7・8年生スキー宿泊学習 in 猪苗代

1月22日(日)から2泊3日で福島県猪苗代にあるリステルスキーファンタジアにおいてスキー宿泊学習が行われました。心配された天気は、3日間とも子どもたちの味方になり、時には晴れ間も見られるなど、絶好のスキー日和になりました。初日の子どもたちは、スキーブーツの底にどうしても付いてしまう雪や、思い通りに操作できない長いスキー板に悪戦苦闘していました。2日目には、苦労した甲斐があり、自分でスピードをコントロールしてターンができるなど、かなり上達しました。そして午後のフリー滑走では、危なげなく楽しそうに滑っていました。最終日には、教えてくださったインストラクターの方に、寄せ書きを渡し、感謝の気持ちを伝えました。

ホテルでの生活は、おいしい食事に舌鼓を打ち、同じ部屋の友人と友情を深めました。また、夜のレクリエーションでは、7・8年生だけでなく先生方との交流も深めることができました。特にお絵かき伝言ゲームでは、子どもたちのセンスある絵に感心しながら、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

何よりも素晴らしかったことは、全員が健康でけがなく3日間を過ごせたことです。山の天気は変わりやすいといわれているスキー場で、3日間とも天気に恵まれたことは、日頃の子どもたちの行いがよかったからだと思います。(文責：杉山)



1/20 (金) 弾道ミサイルが飛んできたら・・・避難訓練



Jアラート例

「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。」

けんかや戦争のない毎日を誰もが望んで生活しているわけですが、新聞やニュースには、争いの報道が流れています。隣国から弾道ミサイルが飛んできても増えました。そこで、1月20日に、弾道ミサイル飛来時対応の避難訓練を行いました。昼休みなので、多くの子どもたちがグラウンドで遊んでいる中、訓練用Jアラートが鳴り響きました。子どもたちは、急いで校舎内に入り、事前に指導されていた「頭を守る」行動を素早く行うことができました。その後の全体会では、子どもたちと次のことを確認しました。

【屋外にいる場合】 近くの建物の中や地下に避難する。

【建物がない場合】 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

【屋内にいる場合】 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

まもなく、2011.3.11に発生した東日本大震災から12年になります。「命てんでんこ(自分の命は自分で守る)」について、保健の授業や道徳、学級活動などでも子どもたちに指導したいと思います。

1/19 (木) 後期課程保護者学校説明会 & 1/31 (火) 新入学保護者学校説明会



新入学及び後期課程開始まで、あと2か月になりました。令和5年度の新入生は、今のところ26名を予定していて、みなみ学園が開校して6年間の中では、一番人数が多いです。これを受けて、令和5年度のみなみ学園は、児童生徒数178名でスタートです。

新入学保護者説明会の時、私は、「今日は、『だいじょうぶ』という言葉を持ち帰ってください。」という話をしました。「入学準備を進めるうえで、不安にならなくてもだいじょうぶです。もし、お子様が、まだできることが少なくてもだいじょうぶです。ゆっくり育っていく子どもたちはたくさんいます。そして、保護者の皆様も、自分のお子様に『だいじょうぶ』とたくさん言ってあげてください。『だいじょうぶ』をたくさん言ってもらえた子どもは、だいじょうぶになっていきます。」。ドロシー・ロー・ノルト著の「子どもが育つ魔法の言葉」の中に、「誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ」「見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる」という言葉があります。私の教育活動の支えになっている言葉です。私たち教職員も、子どもたちの気持ちを理解し、これまで以上に「だいじょうぶ」と声をかけていきたいと思っています。

2/1 (木) 2年生が茨城大学教育学部附属小学校2年生と交流しました



みなみ学園の2年生は、茨城大学教育学部附属小学校の2年生と毎年交流を行ってきました。ここ2年間は、コロナ禍の影響で、オンライン開催になっていましたが、2月1日、3年ぶりに対面で交流会を行いました。附属小学校の2年生は、水戸駅から笠間駅まで電車でやってきました。そして、笠間駅から歩いてみなみ学園へ。みなみ学園の2年生は、昇降口の入り口で、附属小学校2年生の到着を今か今かと楽しみに待っていました。出会ってすぐのお互いの感想は「2年生が、制服を着ている・・・。」「遊ぶ時の洋服を着ている・・・。」なるほど。そして、交流会では、両校ともタブレットを使って学校紹介したり、学校探検したりしました。様々な学校があり、それぞれが学校の文化や伝統を大事にしながら生活していることを子どもたちは学ぶことができたと思います。すっかり打ち解けて仲良くなった子どもたちは、最後に記念撮影をしました。今度は、2月22日(水)に、みなみ学園の2年生が、附属小学校を訪問する予定です。子どもたちは、今からとても楽しみにしています。



2月3日のオンライン全校集会で、節分という言葉には、季節を分けるという意味があること、昔、春は1年の始まりとされて、大切にされていたことなどを話しました。そして、春が始まる前の日を、冬と春を分ける日として「節分」と呼ぶようになったことも話しました。節分の次の日は「立春」。暦の上では春です。桜が咲く春までの2か月の間に、子どもたちが今年度中に行う学習のまとめをしっかりできるよう、教育活動を進めてまいります。(文責：野尻)

りっしゅん
立春

節分に現れた優しい鬼